

一般質問

※3月11日震災前の内容です

議員 県道日立東海線
施工の際の既存水路、
五差路から幸の実園へ
下る坂のところに不動
院のわき水が出る池が
ある。その水源は竹瓦
へ行く道に沿つて荒神
滝に合流し、水田の山
下の斜面の下を流れ常
磐線の方に流れる。以
前はホタル、小魚等が
生息していたが、今で
は影も姿もない。当時
のいきさつと今後どのようにするのか。

建設水道部長 平成15

議員 斜面の緑地が宅
地造成により崩れ始め
ている。大事になる前に
調査すべきだと思う
が。

建設水道部長 斜面緑



荒神滝からのわき水

議員 横断については現在の形になつた。結果的に既存の水路、議員ご指摘のキャッチ水路は分断せざるを得ない状況になつた。上流から水を引くことが可能か、道路管理者の県大宮土木と協議していきたい。今回の件に限らず生物多様性、自然環境の保全という視点で、施工に当たつては総合的な検討をしていきたくと考えています。

議員 斜面、緑地、わき水水路を管理しホタル等が生息できるよう努めるべきである。

議員 在村では緑の基本計画に基づき、村民の森、今指定している白方溜から国道6号線までの豊岡白方地区、内宿、外宿にまたがる斜面緑地であります。が、指定して緑地の保全に努めているところです。

議員 斜面、緑地、わき水水路を管理しホタル等が生息できるよう努めるべきである。

議員 核燃サイクル工
学研の火災、三菱原燃の体内被曝など事故続出だが、事業所の実態をどうみるか。安全管理の徹底強化が必要ではないか。

経済環境部長 大事故に至つては、ないがトラブル続きの状況。直ちに現地入り調査し現場を確認、当日の状況等説明を受けた。再発防止のため原因分析、安全点検、安全教育を強く要請してきたが、今の状況は安全確保への意識改革が十分になされているとは言えず、村民の原子力に対する信頼を損なうもので極め

議員 プルトニウム燃
料第二開発室の火災燃へ嚴重注意文書を、その他村内すべての原燃へ嚴重注意文書を、は、可燃物があつてはならない所に可燃物があつた。作業中に一部子力事業所へ注意喚起の文書を発出した。

議員 今後は、立入調査などを通じ、事故後の対策状況の確認、効果などを検証し、事業所へさらなる改善を求める。

議員 同時に他事業所での安
全対策の先進的な取り組み等を伝え、各事業所で反映していただくなど、情報を事業者間で共有できる橋渡し役はマニュアル違反が大問題。しかし、JCO臨界事故の教訓の一つに、事故を招いたこと。火災発生の本質を見抜いて村として最高の姿勢、嚴重注意で臨むべきである。



第5次総合計画に生物多様性の取り組みの位置づけ、促進事業
光風会 村上 孝 議員



原子力事業所
マニュアル違反は嚴重に注意すべき
日本共産党 大名 美恵子 議員